

## 城間幹子那覇市長殿

平成27年2月10日（火）  
住みよい那覇市をつくる会  
代表者 金城 テル

### 質問状

市長に就任以来、精力的に市政運営に当たって下さっている事に心から感謝を申し上げます。

私共「住みよい那覇市をつくる会」と県内外の心ある多くの方々は、現在若狭地区に建設が進められている那覇・福州友好都市交流シンボル建設（以降龍の柱）は観光の発展に寄与するどころか、観光客の9割以上を占める本土からの観光客の減少につながるものと危惧致しております。（理由は平成25年9月より花とみどり課に再三に渡り伝達してあります）

この龍の柱は、当初完成が予定されていた平成25年には着工すら出来ず、平成26年3月24日まで延長されることとなりました。ところが、この期日も到底守れなくなっていることが現在、明らかとなっています。

これは、この計画自体に問題があることと思われまます。よって以下の疑問にお答え下さい。

#### 記

##### ■質問主旨

龍の柱建設予定地は、もともと海を埋め立てた土地であり、なお且つ海岸に近いため地震による液状化や津波による倒壊の危険性が極めて高い地域となっています。本土では、過去の大震災を越すだろうといわれる南海トラフ地震は国が予測する発生確率では、30年以内に東海88%、東南海70%、南海60%となっておりまた、地震がいつ発生するかも知れないという意味では本県もその例外ではありません。

龍の柱の総重量は一本が400トンにも及ぶもので、設計上は当初地下55mまでパイルを打ち込み土台をつくるというものだったはずですが、ところが現状はその半分にも満たない25mで工事を終えています。パイルの数を増やしたからといって上記の災害に対応できるものなのか、市民としてまた、観光客を迎える県民として心配でなりません。

**■質問内容**

- 1、本来、市はこのような地域の建設制限を条例で定めるべきです。市または県及び国ではこのような土地の建設の制約はありますか？
- 2、龍の柱の土台作りとなるパイルの打ち込みが地下 55 m から 25 m に短縮した理由は何ですか？
- 3、パイルの地下打ち込みが 25 m で終了していますが、パイルを倍増することにより当初の 55 m に匹敵する強度であるという計算を行った会社名を開示して下さい
- 4、龍の柱の設計は、1 本が 11 段に分割して制作されるものや、10 段、12 段とするものも那覇市から出されています。那覇の港に届いている龍の柱は何段ですか
- 5、設計に当たり、10 分の 1 のサイズの石柱が作られているはずですが。市民の権利としてその石柱の公開を求めます。公開はして頂けますか？
- 6、龍の柱の完成予定が平成 25 年度から 26 年度に延長さてましたが、この期日も守れそうもありません。完成はいつになりますか？
- 7、この龍の柱の事業費は整備工事その 1、その 2 を含めて 26,700 万円と聞いております。工事が延長されとなれば増額が予想されますが、如何ですか？されるとなれば、予算規模は如何ほどになりますか？
- 8、城間市長は先の市長選挙で「オール沖縄」という民意を重視する市政運営をアピールされて当選なさいました。市民からは観光促進であれば、爪の本数で序列や各位が付けられる龍の柱ではなく、中国（福建省）にも由来し、本土にも馴染みがあり、序列や各位とは無縁でなお且つ沖縄のイメージに合致するものはシーサーを建てるべきだという意見がほとんどです。現在完成した土台はそのまま活かし、その上に建設するものが龍の柱なのか、或いはシーサーの方がよいのか民意を確認し、その結果に基づいて決定すべきと思います。その決定の一助そして一般市民の傍聴が可能な公聴会もしくは新たなパブリックコメントを広く求めて頂くことを希望いたします。

以上、お手数ではありますが、回答は文章にて 2 週間以内にお願ひ申し上げます。